

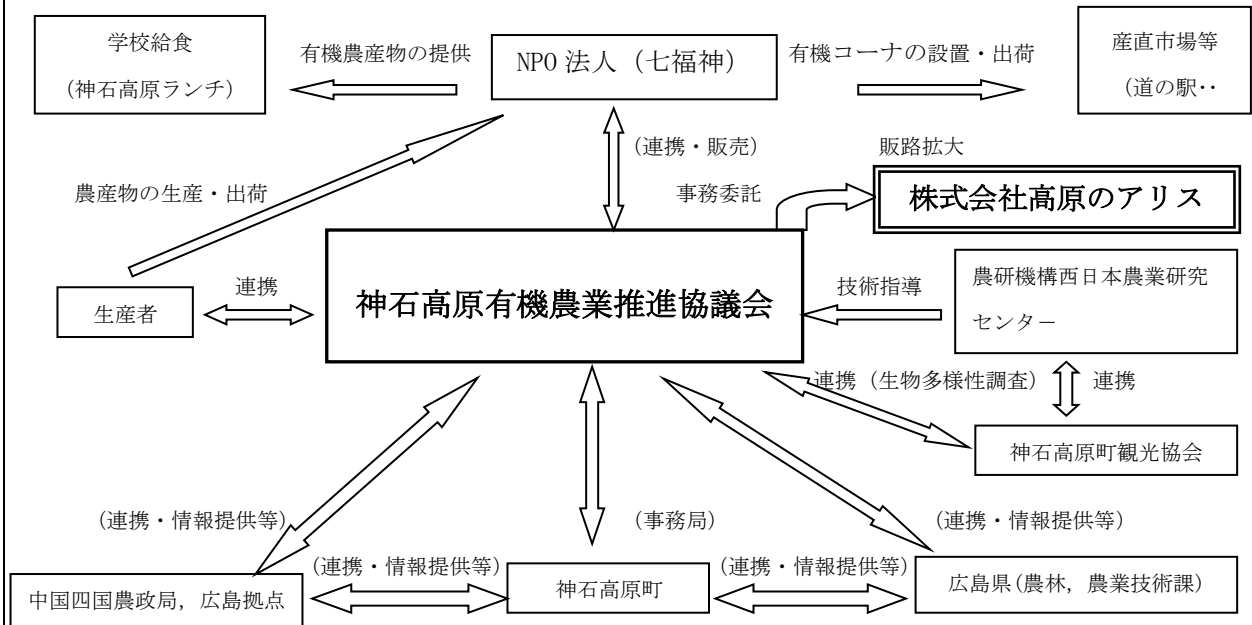
神石高原有機農業推進協議会実施計画

1. 市区町村名 神石高原町
2. 計画対象期間 令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月
3. 対象市区町における有機農業の現状と 5 年後に目指す目標 ア 有機農業の現状と課題 現状 ①経営耕地面積 1,960ha (2020 年農林業センサス) ②農業経営体数 836 経営体 (//) ③有機農業に取り組んでいる面積 7.6ha (環境保全型農業直接支払交付金 R3 年 度補助対象面積) ④有機 JAS 認証数 6 人 課題 ①有機農業者育成定着 ②有機農業に関する技術的支援 ③有機農産物の流通販売・消費の促進 ④有機農業をめざす取り組みへの認知 イ 5 年後に目指す目標 ①有機農業面積拡大 7.6ha ⇒ 20.2ha ②有機農産物販売量の増加 (その他 腐植堆肥製造量の増加・生産技術の向 上) 16t ⇒ 32t ③有機農業者の増加 (年間所得 350 万円以上を目標) 6人 ⇒ 11人
4. 取組内容 ア 有機農業の生産段階の推進の取組 ① 町内への新規参入者の支援として、農地や定住に向けた情報提供や営農計画による機械設備の整備に関する補助事業等を活用するための支援を行う ② 農薬や化学肥料に頼らない雑草や病害虫対策により、高品質や収量性高い技術を確立するため研修会や講習会を実施し情報共有をする (優良堆肥を確保するための堆肥分析, 土壌診断による供給量の把握, 各種野菜に応じた有効な肥料の施肥) イ 有機農業で生産された農産物の流通, 加工, 消費等の取組 ① 有機農業者の経営の安定化を図るために, 有機で生産された農産物の販路等を確保するため, 販売先や販売方法 (直販, 宅配, 契約, JA 直売所, 道の駅, 生協等) を検討 ② 生産者と消費者との交流会を実施し, 有機農業と触れ合う機会を創出することを

通じ、有機農業の生物多様性の保全や環境負荷を低減する環境に配慮した農業であることへの理解や認知の促進を図ります。
 また、教育委員会を通じて学校給食への有機農産物の活用に向け、積極的な働きかけを行います。

5. 取組の推進体制

ア 実施体制図



イ 関係者の役割

- 神石高原有機農業推進協議会・・・事業実施主体
- 神石高原町・・・事務局，関係機関との調整，
- 特定非営利法人オーガニック&メディカル七福神・・・委託販売先
- 農研機構西日本農業研究センター・・・技術指導，生物多様性実証
- 神石高原町観光協会・・・生物多様性実証
- 中国四国農政局広島県拠点・・・事業推進，情報提供
- 広島県・・・事業推進，情報提供

6. 資金計画

7. 本事業以外の関係事業の概要

8. みどり食料システム法に基づく有機農業の推進方針について

広島県と共同で基本計画を作成し，計画に沿って推進を行う。

9. その他（達成状況の評価，取組の周知等）